

様式 A 情報処理基礎演習Ⅱ（竹谷）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	情報処理基礎演習Ⅱ Basic Exercise in Information Processing II		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・情報と計測・制御	授業形態・学期	演習・後期
	対象学生	MS-1,EC-1	必修・選択の別	選択
教員に かかわ る情報	担当教員・所属	竹谷尚・電子制御工学科		
	研究室等の連絡先	研究室：電子制御・情報工学科棟 1 階（内線：8278） E-mail：taketani@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	総合領域/情報学/計算機システム・ネットワーク		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(2)専門分野技術の知識を修得し，機械やシステムの設計・政策・運用に活用できる能力を身につける」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習教育到達目標は「(C)情報技術の取得，C-1：機械・制御システム技術者および電気電子・情報技術者に必要な情報技術を修得し，活用できること」であるが，付随的に「A-1」，「C-2」にも関与する。		
	授業の概要	情報処理基礎演習Ⅰあるいは情報処理応用演習Ⅰにおいて学修したコンピュータリテラシー能力を基礎として，学修や研究の場でのより高度なコンピュータ技術の基礎となる UNIX の体系やコマンドの基本的な技術について理解する。また，シェルスクリプトについても学ぶ。		
	学習目的	UNIX の体系やコマンドの基本やシェルスクリプトを修得する。 Visio(高度な機能を持つ図形作成ソフト)の初級習得		
	到達目標	1. UNIX の基礎を習得する。 2. プログラミング言語を用いて，基本的なプログラミングができ，課題解決に活用できる。 3. Visio で電気回路，ネットワーク図などが作成できる。		
履修上の注意		本科目は「時間外の学習を必修とする科目」である。1 単位あたり授業時間として 30 単位時間開講するが，これ以外に 15 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		前期に情報処理基礎演習Ⅱあるいは情報処理応用演習Ⅱのどちらを履修していても履修できます。		
基礎科目		情報処理基礎演習Ⅰ（専 1 年）あるいは情報処理応用演習Ⅰ（専 1）		
関連科目				

授業にかかわる情報				
授業の方法			主に総合情報センターの応用演習室のパソコンで演習を行う。	
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	前 期	1 週	● ガイダンス	各学習項目とレポートの作成。
		2 週	● 数式処理ソフト maxima 入手とインストール, 簡単な計算	
		3 週	● maxima による数式処理 方程式, 連立方程式, 行列, 微積分	
		4～6 週	● Phun による運動シミュレーション	
		6 週	● CentoOS 入門	
		7,8 週	● CentoOS 上での環境整備	
		9～11 週	● CentoOS によるプログラミング	
		12 週	● Unix に関する基礎知識 ジョブ制御, シェル, ファイルシス テム, 各種コマンド	
		13,14 週	● シェルプログラミング	
15 週	● Visio の基本操作			
教科書, 教材等			教科書: プリント 参考書: ワークステーション入門活用, UNIX 入門演習	
成績評価方法			各課題へ対する理解と成果 (レポートと作品) 100%	
受講上のアドバイス			授業開始 25 分以内であれば遅刻とし, 遅刻 3 回で 1 欠課とする。	